

ページ	誤	正																								
P09	※8 スピーカ の解説3行目 1. キットに入っている <b>長めの</b> 線材を真ん中で切ります。	1. キットに入っている線材を真ん中で切ります。																								
P12,13	<table border="1"> <thead> <tr> <th>STEP</th> <th>C言語</th> <th>マイコン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>05</td> <td></td> <td>SRE, PORTxレジスタ, TRISxレジスタ</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>入力端子.PORTxレジスタ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	STEP	C言語	マイコン	05		SRE, PORTxレジスタ, TRISxレジスタ	11	入力端子.PORTxレジスタ		<table border="1"> <thead> <tr> <th>STEP</th> <th>C言語</th> <th>マイコン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>05</td> <td></td> <td>SFR, PORTxレジスタ, TRISxレジスタ</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td></td> <td>入力端子.PORTxレジスタ</td> </tr> </tbody> </table>	STEP	C言語	マイコン	05		SFR, PORTxレジスタ, TRISxレジスタ	11		入力端子.PORTxレジスタ						
STEP	C言語	マイコン																								
05		SRE, PORTxレジスタ, TRISxレジスタ																								
11	入力端子.PORTxレジスタ																									
STEP	C言語	マイコン																								
05		SFR, PORTxレジスタ, TRISxレジスタ																								
11		入力端子.PORTxレジスタ																								
P40	最上段囲み ①電圧レベルの初期設定 ポートBに接続されたLEDが全て消灯するように ポートBを全て <b>LLレベル</b> に設定します。 ・・・ポートBの設定と同じ <b>LLレベル</b> にしておきましょう。	①電圧レベルの初期設定 ポートBに接続されたLEDが全て消灯するように ポートBを全て <b>HLレベル</b> に設定します。 ・・・ポートBの設定と同じ <b>HLレベル</b> にしておきましょう。																								
P50	最下行 この設定で何をしているかについては、 <b>Pxx</b> で解説します。	この設定で何をしているかについては、 <b>P106</b> で解説します。																								
P72	8レベルスタック解説図内 ② <b>関数0</b> を呼び出しBの番地を格納 ③ <b>関数0</b> を呼び出しCの番地を格納	② <b>関数1</b> を呼び出しBの番地を格納 ③ <b>関数2</b> を呼び出しCの番地を格納																								
P86	ソース内 待ち時間の間隔 10000 → 300 ~ <b>500ぐらい</b>	10000 → 300 ~ <b>600くらい</b>																								
P91	問題11-2 3行目 ヒント2: 入力端子に設定するのは、 <b>RA0~4</b> 端子のみです。	ヒント2: 入力端子に設定するのは、 <b>RA0~5</b> 端子のみです。																								
P112	上段 外部割込みとは 4、5行目 入力エッジ 立ち上がりエッジ・・・端子の電圧レベルが <b>Hレベル</b> から <b>Lレベル</b> に変化 立ち下がりエッジ・・・端子の電圧レベルが <b>Lレベル</b> から <b>Hレベル</b> に変化	入力エッジ 立ち上がりエッジ・・・端子の電圧レベルが <b>Lレベル</b> から <b>HLレベル</b> に変化 立ち下がりエッジ・・・端子の電圧レベルが <b>Hレベル</b> から <b>LLレベル</b> に変化																								
P113	フローチャート メイン関数 下から2つめ <b>LED2</b> 状態反転	<b>LED3</b> 状態反転																								
P128	下段 INTCONレジスタ ⑤ <b>TOIF</b> ビット: タイマ0オーバーフロー割込みフラグ ⑥ <b>TOIE</b> ビット: タイマ0オーバーフロー割込み許可	INTCONレジスタ ⑤ <b>TOIF</b> ビット: タイマ0オーバーフロー割込みフラグ ⑥ <b>TOIE</b> ビット: タイマ0オーバーフロー割込み許可																								
P139	CCP1CONレジスタ(17h) CCP1X CCP1Y CCP1M3 CCP1M2 CCP1M1 CCP1M0 <table border="1"> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td><b>1</b></td> <td><b>0</b></td> <td>1</td> </tr> </table>	-	-			1	<b>1</b>	<b>0</b>	1	CCP1CONレジスタ(17h) CCP1X CCP1Y CCP1M3 CCP1M2 CCP1M1 CCP1M0 <table border="1"> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td><b>0</b></td> <td><b>1</b></td> <td>1</td> </tr> </table>	-	-			1	<b>0</b>	<b>1</b>	1								
-	-			1	<b>1</b>	<b>0</b>	1																			
-	-			1	<b>0</b>	<b>1</b>	1																			
P140	最上段囲み CCPR1レジスタ ③10進数の“ <b>1191</b> ”は、2進数で“00000111 01110111”です。	③10進数の“ <b>1911</b> ”は、2進数で“00000111 01110111”です。																								
P143	上段囲み <b>タイマ1の設定に必要な設</b>	<b>タイマ1を使用するのに必要な設定</b>																								
P143	上段囲み 6行目 ⑧ <b>CCP1IE</b> = 1;	⑧ <b>TMR1ON</b> = 1;																								
P143	問題18-1 音階の周波数表 「ファ」の周波数 : <b>369.99Hz</b>	「ファ」の周波数 : <b>349.2Hz</b>																								
P149	上段囲み 周期とHの時間 <table border="1"> <tr> <td>CCPR1レジスタ + CCP1Xビット + CCP1Yビット</td> <td>CCPのレジスタ <b>パルス信号の周期を設定</b> TMR2レジスタの値とCCPR1レジスタ~</td> </tr> <tr> <td>PR2レジスタ</td> <td>CCPのレジスタ <b>パルス信号のHの時間を設定</b> TMR2レジスタの値とPR2レジスタ~</td> </tr> </table>	CCPR1レジスタ + CCP1Xビット + CCP1Yビット	CCPのレジスタ <b>パルス信号の周期を設定</b> TMR2レジスタの値とCCPR1レジスタ~	PR2レジスタ	CCPのレジスタ <b>パルス信号のHの時間を設定</b> TMR2レジスタの値とPR2レジスタ~	<table border="1"> <tr> <td>CCPR1レジスタ + CCP1Xビット + CCP1Yビット</td> <td>CCPのレジスタ <b>パルス信号のHの時間を設定</b> TMR2レジスタの値とCCPR1レジスタ~</td> </tr> <tr> <td>PR2レジスタ</td> <td>CCPのレジスタ <b>パルス信号の周期を設定</b> TMR2レジスタの値とPR2レジスタ~</td> </tr> </table>	CCPR1レジスタ + CCP1Xビット + CCP1Yビット	CCPのレジスタ <b>パルス信号のHの時間を設定</b> TMR2レジスタの値とCCPR1レジスタ~	PR2レジスタ	CCPのレジスタ <b>パルス信号の周期を設定</b> TMR2レジスタの値とPR2レジスタ~																
CCPR1レジスタ + CCP1Xビット + CCP1Yビット	CCPのレジスタ <b>パルス信号の周期を設定</b> TMR2レジスタの値とCCPR1レジスタ~																									
PR2レジスタ	CCPのレジスタ <b>パルス信号のHの時間を設定</b> TMR2レジスタの値とPR2レジスタ~																									
CCPR1レジスタ + CCP1Xビット + CCP1Yビット	CCPのレジスタ <b>パルス信号のHの時間を設定</b> TMR2レジスタの値とCCPR1レジスタ~																									
PR2レジスタ	CCPのレジスタ <b>パルス信号の周期を設定</b> TMR2レジスタの値とPR2レジスタ~																									
P155	中段囲み T2CONレジスタ(12h) <table border="1"> <thead> <tr> <th>T2CKPS1</th> <th>T2CKPS0</th> <th>プリスケアラ値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>*</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>1</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	T2CKPS1	T2CKPS0	プリスケアラ値	1	*	16	0	1	4	0	0	1	<table border="1"> <thead> <tr> <th>T2CKPS1</th> <th>T2CKPS0</th> <th>プリスケアラ値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>*</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>1</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>*1でも0でも同じ</b></p>	T2CKPS1	T2CKPS0	プリスケアラ値	1	*	16	0	1	4	0	0	1
T2CKPS1	T2CKPS0	プリスケアラ値																								
1	*	16																								
0	1	4																								
0	0	1																								
T2CKPS1	T2CKPS0	プリスケアラ値																								
1	*	16																								
0	1	4																								
0	0	1																								
P176	上段 Stopwatchの起動と設定 方法については、 <b>デバッグの使い方「起動と設定」</b> を参照してください。	方法については、 <b>デバッグの使い方「MPLAB SIMの起動と設定」</b> を参照してください。																								